

# 木オだよソ

社会福祉法人 東香会  
しぜんの国保育園 small village

July 2022



法人理念  
いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

## 7月主題 太陽のまなざし 半夏生のいろ

いよいよ、買ってみました。中華鍋。子育て中は手入れの難しさで、鉄のフライパンを駄目にした経験があり敬遠していたのですが、家族と相談し、今ならいける！と思い友人たちにオススメを聞いて購入しました。合羽橋から今日届く予定です。

土曜日のお昼ごはんは、よく父が炒飯を作ってくれました。実家の台所に冷房はありません。汗をかきながら、中華鍋で作った炒飯。具は、玉葱、豚肉、あと何が入っていたかな…。何が入っていたか思い出せないくらい、当時はその有り難みもわからず、淡々と食べていた、懐かしい父の炒飯。

もう食べられないと思うと、心がスーンとするけれど、私が作る出番がやってきたようです。父のこだわりは、玉ねぎを丁寧に炒めることだと言っていたな。丸いお椀を型にして、半円形に盛り付けた、まあいい炒飯。実直でシンプル、いつも同じ炒飯の味。一度でも「おいしい」「ありがとう」と伝えたことはあったかな。

中華鍋が届いたら、教えてくれる人もレシピもないけれど「思い出の味」を作ってみようと思います。みなさんの思い出の味はありますか？

園長 齋藤美和



## 7月 の予定

誕生会  
お泊り保育(けやき組)  
避難訓練  
2020年度 卒園児の集い  
しぜん体験  
2021年度 卒園児の集い

### お知らせ と おねがい

- 本日、七夕の短冊を配布しています。ご自宅でお願い事を書いて、登降園の際にホールに設置してある笹に、お子さんと一緒に結んでください。  
みんなの願い事が叶いますように。。。
- 駐車場について、保護者の方から相談がありました。車のサイドミラーが、ちょうどお子さんに当たる位置にあるため、駐車中、サイドミラーを閉じることができる車両の場合、閉じていただくと有難いとのことです。  
ご理解ご協力をお願いします。
- 登園時、サンダルや長靴での登園はお控えいただき、動きやすい靴での登園をお願いします。※緊急時など登園靴を履いて避難する可能性がある為。

# じむしょ 小窓 だより

今年は一足早く梅雨が明けました。外遊びから戻り、大粒の汗をかきながらランチルームに入ってくる子どもたちの姿に私たち給食スタッフはいつも元気をたくさんもらっています。

給食室では物語メニューのほかに、四季折々に合わせた様々なお楽しみのイベント(お花見ランチ・そよ風ランチ・あじさいランチなど)を毎月行っています。

6月は「あじさいランチ&パン探し!」1歳クラスはビニールに入れたパンを部屋の壁に貼り付け、好きなパンを壁から収穫2歳すみれ組はパン屋さんがオープン。幼児クラスはチームごとにお部屋に隠されたパンを探し、思い思いの場所でランチを楽しんでいました。

いつもと変わらぬ給食も食べる場所をかえることで、気分も変わり子どもたちの食欲も旺盛になります。また恒例の Pasta 対決では、「ミートソースVS和風ツナ」を開催。おかわりをしに来た子どもたちの中には、両方おいしいから迷っちゃう・・・という子や私はミートソース!ともう決まっている子。シールを貼る時にも、両方好きだから真ん中に貼りたいな・・・という子やお友達と楽しそうに相談しながら貼る子など、子どもたちの様々な反応に私たち給食スタッフも心なごむ時間となりました。結果、幼児さんはミートソース2歳すみれ組は和風ツナが人気となりました。

6月の物語メニューで人気だったのは「しろいうさぎとくろいうさぎ」のクッキー。私たちがうさぎのクッキー型を抜いていると、給食室の大きな窓の外には興味津々に眺める子どもたちでいっぱい。その中の一人の子どもが、サンプルケースの横にある絵本を見つけ「あっ、この絵本だよね!」と嬉しそうに話しかけてくれました。しぜんの国の素朴なクッキーが子どもたちと絵本をつないだ瞬間でした。食を通して子どもたちの興味から会話が広がるこの給食の時間がしぜんの国ならではのスタイルだと感じています。

子どもたちが春から大切に育てている野菜もそろそろ収穫を迎えます。子どもたちが収穫した野菜でどんなメニューをリクエストしてくれるのか、今から楽しみです(給食 三木)

## こども村インタビュー

お泊り  
保育編

いよいよお泊り保育がやってきます。  
けやき組のみんなに今の気持ちを聞いてみました。

保育者「何が楽しみ?」

Eくん「からあげ!じぶんたちできめたんだよ」

Sくん「いわないで、けやきだけのとくべつだから」

保育者「寝られるかな?」

Yさん「ねられない。いつもママといっしょだから。  
ないちゃうかもしれない」

「でもひかりせんせいといっしょにねるからだいじょうぶ」

# 保育者 リレー エッセイ

第3回目の担当は、けやき組担任、うまチーム担当の角葵さんです。

【いつも柔らかい雰囲気のおおいさん。つい近くに行きたくなってしまいます。その秘訣とは?!】

かこさん、バトンありがとうございます。

夏が近づくある日のこと。給食を食べ終わったくんが、廊下でごろんと横になっていました。まるでテレビの前のお父さんスタイルだったので、そっと横でごろんと転がってみました。食べた後だから、すぐ横にならないほうがきっと良いけれど、この場所でこのポーズ。なんだか、落ち着く。

またある日の夕方、Sさんが歌を口ずさみながら一人、ガラスの自分に向かって踊っていました。最後は鳥みたいなポーズです。一緒にやってみたくなくて、離れた場所で真似して踊ると、そんな私に気がついたちゃん。「じゃあさ、これって知ってる？」と今度はわたしに向けて、新たな踊りを教えてくれるのです。突然のダンスレッスン。

子どもと暮らしをともにしていると、その姿に惹かれて「それってすごく楽しそう」「わたしもやってみたい！」と気持ちが動き出します。

一緒になって、まずやってみる。暮らしの中で、言葉だけでは理解できないこともたくさんあります。視線を同じくしてみると、[なるほど...]とじんわり分かってほどけるような瞬間があるのです。一緒にやってみて味わうひとときも、見えなかった何かが見えてきた瞬間も、やってみただけ..あんまり分からないな..と考えている時間も、わたしは大好きです。これからも、子どもや周りの大人と一緒に、楽しそう！いいね！といつも新しい気持ちで、巻き込んだり巻き込まれたりしていきたいな、と思います。

次回は

仕事に、人に、まっすぐ！な、さとみさん。一見クールな印象とは裏腹に、熱い想いを感じる瞬間があります。夏の暑さに匹敵するその熱量は、一体どこからくるのでしょうか？

## かみじまのんびり 漫画劇場

## 「ながーいへび」

文・絵 かみじまたるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」YouTubeにて公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>